

龍谷大学大学院 政策学研究科

地域公共人材実践演習（Capstone）参加者募集

<経過>

龍谷大学では、大学院政策学研究科の授業の一環として、院生を対象とし、(財)地域公共人材開発機構が進める「**地域公共政策士**」の資格認定に必要な「**キャップストーン**」として「地域公共人材実践演習」を開講しています。地域公共政策士の資格を取得しようと考えている方はぜひ受講して下さい。

このキャップストーンとは、ピラミッドの頂上にある四角錐の石のことで、皆さんが大学、大学院、あるいは社会人として様々な学びをしてきた総仕上げとして実施するものです。地域の現場で実践的に、学んできたことを生かした政策提案をするPBL(Project Based Learning)型の授業です。

2015年度から2019年度までは青山先生が担当されていましたが、2020年度からは白須が担当いたします。

<2015年度、2016年度、2017年度、2018年度、2019年度のCapstone開催実績概要>

2015年度は、久御山町からの依頼を受け、「**久御山町の農産物を生かした交流人口の増加**」をテーマにキャップストーンを実施しました。参加メンバーは6名でうち社会人4名の構成です。その成果は久御山町の地方創生事業の一環で開催された交流推進会議に報告され、交流推進会議の報告書にも紹介されました。

2016年度は、京都中小企業家同友会伏見支部からの依頼を受け、「**きらめく水の都 伏見創成戦略**」を作成し、**21のプロジェクト提案**を行いました。参加メンバーは6名で、うち社会人が3名の構成です。毎回のワークショップには、京都中小企業家同友会伏見支部のメンバーも参加し、熱い議論を展開しました。

2017年度は2016年度に引き続き、京都中小企業家同友会伏見支部の依頼を受け、2016年度に提案した「**きらめく水の都・伏見創成戦略**」を土台に、地域におけるイベントマップの作成を行いました。

2018年度は、社会人院生5名、学内からの進学院生3名の計8名で、京都中小企業家同友会の実施する「**東南フェスタ in 龍谷**」を協働で開催しました。2018年度は東南フェスタが9月開催であったことから、後期は、「**伏見におけるSDGsの取り組み状況**」として、様々なデータを整理して、比較しました。

2019年度は、受講生10名で、京都中小企業家同友会伏見支部との協働で、「**SDGsの普及・実践を伏見の現場から考える**」という視点に立ち、①SDGs実践に向けて企業の取組を経済面、地域社会との関係から分析するとともに、②龍馬通り商店街でのSDGsイベント、③SDGsカードゲームを催行し、2月27日に「**伏見区におけるSDGsの実践に向けて**」と題する報告書を刊行するとともに、京都中小企業家同友会伏見支部の例会において報告会を持ちました。

<2020年度の開催テーマ>

2020年度のテーマはまだ確定はしていませんが、**伏見地域に焦点を当て、「地域で生まれた人が地域で育ち、学び、働き、暮す」ことができる、地域資源を活かした「域内経済循環の環境づくり」のために企業は何をすべきか**について、京都中小企業家同友会伏見支部の皆さんと協働で検討を進めたいと思います。具体的には、京都市の「**中小企業未来力会議**」伏見版の立ち上げに向けたプラットフォームづくりや域内経済循環の現況把握・分析などについて、参加する皆さんのワークショップで決定していきたいと考えています。

この演習は院生の皆さんが中心となりPBL(Project Based Learning)を通じて地域貢献を行う場として位置付けています。前期、後期通しての開催で、京都中小企業家同友会のメンバーも一緒に参加されます。是非、皆さんの積極的な参加を期待しています。

<実施期間および開催時間>

前期：**2020年4月11日（土）13:30より顔合わせの予定**（都合の悪い人はご連絡下さい）
場所は和顔館5階の会議室（図書館の上）に集合してください。授業等の予定がある人は、一部の参加だけでも結構です。

授業の開催日時は皆さんと京都中小企業家同友会の皆さんのご都合を調整した上で決定しますが、少しでも多くの方が集まりやすいよう、これまでの例でいうと、土曜日の午後または夕刻（あるいは平日の18:30～21:00）、原則隔週で開催します。

後期：2020年10月～2021年2月まで ＊詳細は皆さんと相談の上決定します

<担当者>

龍谷大学政策学研究科 教授（特任） 白須 正